東京大学地震研究所
 「研究成果の状況」について、学術面では、大型観測網を活用した研究等をはじめとし、
観測固体地球科学分野及び関連分野において卓越した業績を上げている。これらには、共
同利用・共同研究の成果も含まれている。社会、経済、文化面では、津波検知システムの
開発等の卓越した研究業績を上げている。さらに、地震・火山噴火の防災関連の国レベル
の主要委員会に人材を輩出している。また、過去４年間の研究成果によって、20 件を超え
る国内外の学会賞等を受賞している。また、研究成果を防災行政に活かした功績が、「防災
功労者防災担当大臣表彰」を受賞している。これらの状況などは、優れた成果である。
 以上の点について、地震研究所の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究
成果の状況は、地震研究所が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断さ
れる。

,, ㉁ࡢྥୖᗘ

㸬㉁ࡢྥୖᗘ

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は２件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、
または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断さ
れた。
研究 17-3